

## 各水試発トピックス

## 全国豊かな海づくり大会で両陛下への御説明を実施

前々号(106号)でも触れましたが、令和5年9月17日(日)に、厚岸町で天皇・皇后両陛下をお迎えして「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」が開催されました。本大会では、式典行事と海上歓迎・放流行事が行われ、その他に企画展示などが催されました。

功績団体の表彰や両陛下からの稚貝等のお手渡し等を行う式典行事の後、海上歓迎・放流行事の前に、両陛下による御放流魚等御覧がありました。ここで道総研水産研究本部の木村本部長が御放流魚、お手渡し魚計6種について、両陛下に説明いたしました。10分弱の間、資料類を参照せずに説明し、ご質問にも随時対応する難しい役回りでしたが、無事に終えることができました。

その後、釧路水産試験場の試験調査船北辰丸も参加した海上歓迎行事に続き、放流行事では、栽培水産試験場が約半年間かけて大切に育て上げたホッケイビの種苗とマツカワの種苗が放流されました。両陛下が御放流台から両魚種を放流される際には、木村本部長は両陛下のそばに付き、後方から衆議院議長や農林水産大臣、水産庁長官、北海道知事らが見守る中、御放流のタイミング等を両陛下にお知らせする大役を担いました。前日に入念にリハーサルを行った甲斐もあり、これも無事に終わりました。

水産研究本部ではこの他に企画展示として、水産研究本部の直近の研究成果のパネルを10枚展示し、成果の普及に努めました。

本大会では長い間準備、そして当日の運営を实

施した北海道庁の方々にとって大変な苦勞があったかと思えます。道総研でも前述の栽培水産試験場、北辰丸の職員に加え、釧路水産試験場の職員も会場運営等で協力したところです。

本大会を通じて、大会の理念にもあるように、豊かな海の恵みに感謝し、栽培漁業や地域資源の利活用が推し進められ、水産業の持続的発展と地域の活性化が図られることが期待されます。



写真1 海上歓迎行事でお手を振る両陛下と木村本部長



写真2 種苗を放流される両陛下

(写真提供：北海道)

(三坂尚行 水産研究本部企画調整部)